

道連ニュース

2009年2月号 No.32

北海道生活協同組合連合会

〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目4番3

札幌クレストビル5階

TEL 011-726-0288 FAX 011-726-0280

URL: <http://www.doren.coop>

道連
報告

活動計画素案・役員選任手続きなど審議しました

第3回理事会（1月29日）開催

当会2008年度第3回理事会を開催し、2008年度活動まとめ・2009年度計画の素案、6月通常総会議案である役員選任の手続きなどの議案を審議しました。報告事項、審議事項は次の内容でした。

《報告事項》

①会員動態、②機関会議（第2回理事会・第1回監事会）、③活動経過 北海道・東北「行政・生協連絡会議」、福祉活動・事業の情報交換会、コープさっぽろ・道連共催学習会「消費者庁ができたらどうなるの?」、北海道労金への出資枠239口をコープさっぽろ福祉基金へ譲渡手続き終了、第2回北海道消費生活審議会「北海道消費生活条例」改正案審議、北海道農業応援PTの進捗、家庭用エネルギーを考えるPTの進捗、④上期監査報告、⑤12月期決算、⑥くらしの相談室、⑦新事務所「全労済北海道会館」への入居条件

《審議事項》

①2008年度活動報告・2009年度活動計画（素案）3月中旬までに第1次案策定、②2009年度役員を選任

の件（役員定数及び区分ごとの役員定数等の決定、候補推薦生協の決定、選定委員選出）

理事定数11（員外3、会員役員8）、監事定数3、理事・監事の推薦生協の決定。

役員選定委員・伝法理事（北海道医療・委員長）、中島理事（コープさっぽろ）、伊藤（道連専務）

3月末までに会員からの役員候補者推薦を受け、選定委員会は4月中旬までに選定作業をします。

③日本生協連の地方選出枠理事の推薦委員会（地連）委員の推薦（慣例により伊藤専務）

◇経済情勢学習会（北洋銀行調査部 斉藤正広課長）

次年度の活動計画を策定するために悪化を続ける経済・消費・雇用などの状況認識を深めようと、理事会に先立って、北洋銀行調査部・斉藤調査課長に学習をお願いしました。回復は最低3年間は必要、事態は「一難去らずに、また一難」と表現されて解説いただきました。

『環境』をテーマに4協交流会を行いました

協同組合間連絡協議会の事業を開催

2006年春に改組してスタートした道内の協同組合間連絡協議会（JA北海道中央会、北海道ぎょれん、北海道森林組合連、北海道生協連）の「交流会」が開催されました。新事業は各連の入協10年前後の職員を対象に、共通するテーマで交流して相互理解を深め合うことを目的とするもので、1月27日の第1回目は各連から『環境』活動を報告しあいました。JA北海道中央会は「クリーン農業の展開」、北海道ぎょれんは「漁業関係者による環境保全対策」、北海道森林組合連は「合法木材の取組み」を報告し、北海道生協連はコープさっぽろ中島常務から「コープさっぽろの環境対策」について報告していただきました。

各連から10名程度ということで32名の参加でしたが、今後は年間2回のペースで開催します。夏から秋の原油暴騰抑制をテーマとした統一活動もあり、協同組合間の共同事業再スタートを高く評価する声も聞こ

える交流会でした。

交流会に先立って、北海道地域農業研究所・太田原高昭所長から『協同組合運動の再認識』のテーマで基調講演がありました。



1月27日、環境で発表・交流した4協同組合の交流会

『監事研修会』・『生協会計実務説明会』を開催しました

2月5日、北海道・日本生協連・道連3者共催

昨年4月の改正生協法施行で定款・諸規則などが改正され、早い生協では2008年度決算から新定款・諸規則の適用を受けます。また、改正生協法施行規則で会計処理が決められたことで、日本生協連は従来の「生協会計基準」を廃止し、この度「生協の会計実務の手引き」を発行しました。日本生協連は全国の各地連単位で監事研修会・会計実務説明会を行っています。北海道・東北地連は仙台開催で道内生協が参加しにくいことから札幌開催を地連に要請し、快く受けてもらったことから、北海道も含めて3者の共催で開催しました。11会員生協・日生協・道連の役職員34名と未加入

生協1名、道環境生活部2名の総勢37名が参加しました。

午前中の「監事研修会」は川田俊夫・日本コープ共済連常勤監事から、午後の「生協会計実務説明会」は遠藤修二・日本生協連会員支援本部スタッフから説明・解説がありました。新・生協会計実務は会社法に準拠しており大きく変わります。また、内部統制の強化から監事の責任・権限が大きくなっています。それらの解説を受けましたが、監事研修会は役職員の方が多くて監事が少ない状況でしたので、今秋に再度の開催を計画する必要があるかと考えています。



午前・午後を通して説明を受ける役職員のみなさん



監事研修会で講師をする新コープ共済連の川田常勤監事

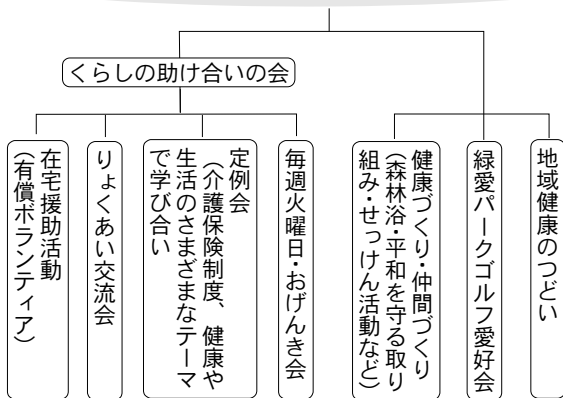


新・生協会計実務を解説する遠藤講師

北海道医療生協 “くらしの助け合いの会・りよくあい”組合員どうしの有償ボランティア

北海道医療生協地域活動推進委員会では、健康の支え合い・くらしの支え合い活動にとりこんでいます。

地域支部協議会（白石・厚別・清田・豊平の各区に5支部）



地域で健康の支え合い、地域健康のつどい2008年度は16箇所で開催しました。



おげんき会でおひな様カード作り、みなさん個性的な作品に仕上がりました。

くらしの助け合いの会・りよくあいでは――

組合員どおしの助け合い活動は、「老後を安心して過ごしたい」「ちょっとの手助けがあれば自立して生活ができるのだが…」こんな地域住民の願いに少しでも応えられたらとの思いから2000年12月に設立し、今日まで取り組んできました。除雪・庭の手入れ・家事援助・車での移送援助など、今年度では、援助延べ670回、利用会員延べ245名でした。（登録会員／援助会員84名、利用会員148名）

毎週火曜日開催のミニデイ・おげんき会（月4回開

催）も延べ43回、1,800名が参加しました。

圧倒的に女性の参加が多いのですが、男性参加者も毎回10名前後あり、会を盛り上げてくれています。

生協緑愛病院看護師の血圧チェックで始まり、くらしの相談から健康相談までしてもらって安心ですと寒い中でも元気に参加します。助け合いの会周辺には様々なボランティアさんがいて続けられています。

北海道医療生活協同組合・札幌緑愛病院
〒004-0861 札幌市清田区北野1条1丁目6-30
電話 011 (883) 0121 / fax 011 (883) 7261